

近鉄花園ラグビー場  
「ラグビー資料室」  
(東大阪市)

みゅ〜  
ザ・見遊じあむ

28

今年も高校ラグビーの熱戦が展開された  
近鉄花園ラグビー場



「甲子園」が高校野球の聖地なら、高校ラグビーの聖地が「近鉄花園ラグビー場」です。近鉄花園ラグビー場は、大阪府東大阪市にある3万人収容のラグビー専用球技場。近鉄奈良線東花園駅から北へ5分のところにあります。日本初のラグビー専用スタジアムとして1929年(昭和4年)

日本ラグビー80年の歴史

に開場しました。現在は近畿日本鉄道(近鉄)が所有し、近鉄のラグビーチーム(近鉄ライナーズ)のフランチャイスタジアムともなっています。このスタンドの下に「ラグビー資料室」があります。世界や日本のラグビーの歴史、高校・大学・社会人ラグビーなどラグビーの魅力写真パネルや様々な資料でわかりやすく紹介した資料室です。スポーツニュースでおなじみのチームのジャージや、新旧のラグビーシューズ、またラグビーボールの制作工程などの楽しい実物展示もありません。ラグビーの創始は1823年のイングランド、日本

に伝わったのは1899年(明治32)。戦時中は敵性語として英語が禁止されたため、ラグビーは「闘球」、トライは「略陣」、ゴールラインを「決勝線」と呼んでいました。戦時下は花園練成場と名を変え、パイロットの初等訓練施設に転用されたり、メインスタンド上屋は軍需物資として供出するため撤去された歴史もあります。

ミュージアムメモ

▶所在地/〒578-0923 東大阪市松原南1丁目1番1号 ▶開館日/ラグビーゲーム開催日 ▶開館時間/開門から閉門まで ▶入館料/無料 ▶交通/近鉄奈良線東花園駅下車徒歩10分 ▶問い合わせ/0729-61-3668

ほくしんななめ  
『北辰斜にさすところ』



旧制高等学校の校風と青春  
戦争で引き裂かれた学友たち

戦前から戦後にかけて存在した、現在の大学にあたる教育機関が旧制高等学校です。ここに集う若者たちの絆を描きながら、戦争によって学友たちと永遠の別れを強いられながらも、友情を築き、若き日々を生きた登場人物たちの姿をじっくりと描いています。鹿児島県の旧制第七高等学校造士館(鹿児島大学の前身)が舞台。題名は、学校の寮歌が「北辰斜に」で、一番の歌詞に「北辰斜にさすところ」とあります。北辰は「北極星」で、鹿児島市から北極星を見ると斜めの方向に見える

ることから、南の地を現しています。大正15年、旧制第五高等学校(熊本大学の前身)との野球の対抗試合で、些細なことから応援団同士が争いになり、以後対抗試合は中止となりました。この対抗試合が、戦後60年たつて、旧制七校100周年の記念イベントとして復活することになりました。元七校野球部のエースだった上田勝弥は、同窓会役員からこのイベントへの参加を懇請されますが固辞します。勝弥には多くの学友が戦争で命を落としたことに強い思いがあったのです。

監督は『草の乱』『郡上一揆』などで知られる神山征二郎監督。三國連太郎のほか、緒形直人、林隆三など神山組でおなじみの俳優にまじって、神山繁、鈴木瑞穂、犬塚弘らベテラン勢の演技で奥深いドラマに仕上がっています。

このシネマ

ガレいナ

大阪の戦跡を歩く

第27歩

恩智神社  
周辺の戦跡  
(八尾市)



恩智神社境内にある戦没者慰霊碑

近鉄大阪線の恩智駅から山に向かって10分ぐらい歩いていくと、いかにも古い、由緒のありそうな鳥居があります。恩智神社です。恩智神社は河内の地域では、枚岡神社につぐ二の宮として、創建は何と大和時代の雄略年間(470年頃)と伝えられている、日本有数の長い歴史をもった古社です。131

段の石段を登ると本殿があります。境内には、日露戦争の戦役碑、第二次大戦での太平洋戦争の戦没者慰霊碑があります。恩智神社の周辺には、明治初期の西南戦争戦死者の墓もあり、山すその田畑には飛行機を隠すためのコンクリートの格納庫だったえん体壕跡が残っています。

今宮戎神社とえべっさん

撰津河内和泉三國誌  
おおさか

28  
(大阪市浪速区)

南海本線今宮戎駅からすぐ、大阪市浪速区にある今宮戎神社(いまみやえびすじんじや)は、商売繁盛の神様「えべっさん」として知られ、毎年1月9日から11日にかけて十日戎(とおかえびす)が開催されています。毎年、「商売繁盛で笹もってこい」のかけ声とともに、応募者の中から選ばれる数十人の福娘もマスコミを賑わせます。

聖徳太子の四天王寺建立の際に西方の守護神として建てられたといいますが、実際の所は定かではありません。祭神は5柱ありますが、このうち事代主神が「えべっさん(戎)」として特に庶民の信仰を集めてきました。戎は左脇に鯛を、右手に釣竿をもっており、その姿はもと漁業の守り神であり海からの幸をもたらす神を象徴しています。この地もかつては海岸沿



福娘も賑やかな今宮戎神社の「十日戎」

いにあり、宮中に鮮魚を献進してきた歴史があります。こうした海辺で物資の集まりやすい土地では、海の種々の産物と里の産物、野の産物とが物物交換される「市」が開かれてきました。が、この地でも四天王寺の西門に「浜の市」が平安後期には開かれるようになり、その市の守り神としても今宮戎神社の戎が祀られるようになりしました。時代を経て市場の隆盛が商業を展させ、いつしか福徳を授ける神、商業の繁栄を祈念する神としても信仰されるようになりました。

今宮戎神社では3日間で、約100万人の参詣者があります。ちなみに気になるさい銭の総額は約5000万円になるとか。大阪では、今宮のほかに、堀川(大阪市北区)、布施(東大阪市)などの戎神社があります。

いまも心に響く  
名詩・名歌・名語録

為せば成る/為さねば成らぬ/何事も/成さぬは人の/為さぬなりけり  
上杉 鷹山

上杉鷹山(うえすぎようざん)は、江戸時代中期の大名で出羽国米沢藩の第9代藩主。1751年7月20日、日向高鍋藩の江戸藩邸で、藩主秋月種美(あきづきたねよし)の次男として生まれました。養子として上杉家を継ぎ、若くして藩政改革に取り組み、藩の窮乏を救うことに成功したことから、数ある大名のなかで名君中の名君といわれました。アメリカのケネディやクリントン大統領が、日本人の政治家で尊敬している人物として上杉鷹山を挙げています。名は治憲(はるのり)ですが、藩主引退後の号である「鷹山」の方が著名です。1822年(文政5年)3月11日に死去しました。享年72歳。

おもしろきこともなき世をおもしろく  
高杉 晋作

高杉晋作(たかすぎしんざく)1839年(天保10)9月27日~1867年(慶応3)5月17日没。長州藩士(現在の山口県)。幕末の長州藩の尊王倒幕志士として活躍。奇兵隊など諸隊を創設し、長州藩を倒幕に方向付けました。吉田松陰の松下村塾に学び、名は東行、晋作は通称で変名は谷潜蔵、備後屋助一郎、三谷和助などを名乗っていました。木戸孝允・大村益次郎らによって、現在の靖国神社に、東京招魂社時代の始めから吉田松陰・久坂玄瑞・坂本龍馬・中岡慎太郎たちと共に祀られています。小説では司馬遼太郎『世に棲む日々』に描かれています。